

N O	教 科	科 目 名	単 位 数	必修・選択の別
203	公 民	公 共	2 / 4 (1・2年次継続履修)	必履修
開講年次	選択群	系 列	使 用 教 科 書 ・ 教 材	
2	なし	なし	公共 (実教出版)	

目 標

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深め、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解し、それらに関する諸課題について主体的に考え、公正な判断力、良識ある公民として必要な能力と態度を身に付ける。

知識及び技能	思考力、判断力、表現力	学びに向かう力、人間性
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための概念や理論について理解するとともに、情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	現実社会の諸課題の解決に向けて、基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、議論する力を養う。	現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

単元・作品名	学 習 内 容	到 達 度 目 標
前期 現代の経済社会と国民生活	現代の経済社会 日本経済の特質と国民生活	<ul style="list-style-type: none"> ・家計・企業・政府がどのように国民経済を構成しているか理解できる。 ・資本主義経済の特徴を、社会主義経済の特徴と比較し理解できる。 ・市場メカニズムの基本を理解し、市場の失敗について考察を深める。 ・株式会社など現代の企業の、所有と経営の分離を理解できる。 ・国民所得の概念を理解し、経済成長や真の豊かさについて考察を深める。 ・金融の役割や金融政策の概要や日本銀行の役割について理解できる。 ・財政政策の概要を理解し、日本の財政の課題について考察できる。 ・戦後日本の高度経済成長の理由を理解し、人口減少、少子高齢化、経済の二重構造など転機に立つ日本経済の抱える問題点を考察できる。 ・食糧問題について理解を深め、日本の農業の在り方について考察できる。 ・消費者問題の概要を理解し、賢い消費者として行動できる。 ・地元富山のイタイタイ病の事実を理解し、環境保全に主体的にかかわっていける方法を考察できる。 ・今日の労働問題を理解し、労働者の権利について理解できる。 ・社会保障制度の仕組みや役割を理解し、抱える課題について考察できる。
後期 国際社会と人類の課題 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	国際政治の動向と課題 国際経済の動向と課題 持続可能な社会を目指して	<ul style="list-style-type: none"> ・国際社会と国際法の基本を理解し、国際政治の変化について理解する。 ・国際連合の役割と冷戦終結後の日本の安全保障体制について考察できる。 ・民族紛争など、複雑な国際関係を幅広い視点から考察できる。 ・国際平和に関する問題について、日本が貢献できることについてさまざまな視点で考察できる。 ・国際経済の基本概念や、国際収支の基本的な構成を理解できる。 ・外国為替市場のしくみを理解するとともに、円高・円安が自分の生活にどのように影響するか関心をもつ。 ・戦後のIMF・GATTなど貿易の自由化が経済に大きな影響を与え、それによって、地域的経済統合の動きなどがみられることを理解する。 ・経済のグローバル化により経済格差が発生したことを把握・考察できる。 ・SDGsの実現に向けて主体的に何ができるかを考察する。 ・これまでの学習の成果の上立って課題を追究し、資料を収集することにより、自分の考えを持つことができる。 ・身の回りの具体的な事例をもとに、地球環境問題などの世界的な諸問題について考察し、国際社会における日本の役割について考察できる。

取得可能な検定や資格

なし